

経営方針

1 校訓

自律 明朗 友愛

2 教育スローガン

師弟同行 啐啄同時 凡事徹底

3 スクールミッション

(1) 社会的役割

校訓「自律・明朗・友愛」のもと、壱岐市唯一の普通科高校として、主体的な「思考・判断・行動」ができ、常に傾聴を心がけ、他者との違いを認め合う豊かな人間性を持ち合わせた人材や、将来にわたり地域の活性化に貢献しようとする人材を育成します。

(2) 教育理念

個に対応した学習指導やキャリア教育を通して、主体的に進路決定をするための資質・能力を育む教育を目指します。また、部活動等を通して、仲間とともに切磋琢磨しながら、高い目標の実現に向けて主体的に努力し続ける力を育む教育を目指します。

(3) 今後の方向性

地域との協働を図りながら、地方創生をテーマにした探究活動や体験学習等を充実させるとともに、ICTを活用した先進的な学習指導を展開します。また、離島留学制度における東アジア歴史・中国語コースにおいては、よりハイレベルな知識・技能の習得に向け、様々な体験活動や史跡巡検、中国語研修等の教育活動を実践します。

4 スクールポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー（育成したい生徒像）

- ① 志を高く持ち、主体的に学び続け、考動する生徒を育成します。
- ② 思いやりの心と協調性を有し、地域の活性化に貢献しようとする生徒を育成します。

(2) カリキュラム・ポリシー（本校が展開する教育活動に関する方針）

1) 学力育成

- ① それぞれの進路目標に応じた学力が身につく授業を展開します。
- ② ICT機器を活用した学習活動を推進し、わかる授業や学ぶ楽しさを実感できる授業を実施します。
- ③ 主体的な「思考・判断・行動」を育むために、「主体的・対話的で深い学び」を各授業で実現します。

2) 生徒支援

- ① 時間を守る、身だしなみを整える・清掃活動に取り組む、挨拶を行う等の「凡事徹底」を通して、基本的な生活習慣を身につけさせます。
- ② いじめを絶対に許さず、仲間を支える態度や、異なる価値観を尊重し、他者の特性への理解と思いやりの心を育みます。
- ③ 適切な健康教育、「命の教育」を推進し、安全意識や生命尊重の精神を育みます。
- ④ 学校の施設・設備の安全点検に努め、安心して生活できる学校づくりを推進します。

3) キャリア教育支援

- ① 「将来の生き方」を考える視点を持たせ、主体的に進路選択ができるように、計画的・組織的な進路指導を図ります。
- ② 読書や外部からの講師の講話等を通して、勤労観・職業観を形成し、生涯に渡るキャリア形成に必要な能力・態度を育成します。

4) 部活動・学校行事

- ① 部活動を通して、たくましい心身や協調性・社会性を身につけさせ、目標を高くし、その実現を目指して努力する精神を鍛えます。
- ② 学習と部活動の両立を目指して努力し、達成感や充実感を味わうことで、「やればできる」という自信と誇りを持たせます。
- ③ 学校行事では、「生徒ができることは生徒が行う」を第一とし、生徒の主体性を高めます。

5) ふるさと教育（次の3点を育むために「壱岐ならではの学び」を展開します。）

- ① 壱岐の良さや課題を見つけようとする心（関心）
- ② 壱岐の文化や伝統、現状の暮らしへの理解（理解）
- ③ 壱岐への愛着と誇りを持ち、将来、ふるさとのために何ができるかを考える力（思考）

(3) アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

次のことに意志・意欲のある生徒を求めます。

- 1) 本校の教育内容や設置するコースについて理解し、入学後は自らが定めた進路目標の実現に向けて、学習を継続し、最後まで努力する生徒。
 - 2) 中学校で部活動や学校行事、生徒会活動等に積極的に取り組み、入学後もこれらの活動を主体的に継続する生徒。
 - 3) ルールやマナーを守り、明るく、礼儀正しく、人への思いやりを大切にするという本校の校訓「自律・明朗・友愛」の精神を培おうとする生徒。
- ※「東アジア歴史・中国語コース」においては、上記(1)～(3)に加えて、
- 4) 歴史や中国語に関する分野に興味・関心が高く、これらを主体的に学ぼうとする生徒。

5 本年度の努力目標

- (1) 生徒が授業、家庭学習、読書、学校行事、部活動等に主体的に取り組めるよう支援する。
- (2) 生徒が自己と他者を尊重し、考動できるよう支援する。
- (3) 生徒が「将来の生き方」を意識した進路選択ができるよう、地域と連携して支援する。
- (4) 離島留学生が安心して生活を送られるよう、しま親と連携を図り、支援する。
- (5) (1)～(4)の支援の充実を図るために、積極的に研修に取り組む。
- (6) 適切に施設・設備の整備や会計処理を行い、安全で安心できる教育環境の整備に努める。
- (7) デジタル化の推進により業務の効率化を図り、フレックス制度等を活用して、ワークライフバランスの取れた、働きがいのある職場の実現に努める。